

総務 法律改正に伴い、投票管理者等の報酬を改定

議案第二号
野田市非常勤特別職の
職員の報酬及び費用弁
償に関する条例の一部
改正

（提案理由） 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、選挙長、投票所の投票管理者、期日前投票所の投票管理者、開票管理者、投票所の投票立会人、期日前投票所の投票立会人、開票立会人及び選挙立会人の報酬の額を改定しようとするもの。

■委員 今回の改正は、国の法律の改正に伴い、選挙長、投票管理者、投票立会人等の報酬及び費用弁償が実質百円の引き下げとなるが、市単独で金額の設定ができる中、この改正によって引き下げを行わなかった近隣市はあるのか。

□当局 東葛飾管内九市の中で、六月議会で改正を行う市が三市、三月議会で改正済みが一市、改正は行いが改正時期が未定な市は二市、今のところ改正する予定がない市が三市という状況である。

◆本会議・全会一致で可決

NOx・PM法により高規格救急自動車を更新

環境経済

議案第九号
高規格救急自動車の購入

（提案理由） 車両の老朽化と自動車NOx・PM法により運用不可能となるため、高規格救急自動車一台を更新しようとするもの。

■委員 現在使用中の高規格救急自動車はNOx・PM法で使えなくなるとのことだが、いつ購入したのか。また、制度や状況の変化等により、以前購入した高規格救急自動車と比較し、装備がどのように改善されているのか。

□当局 現在使用している高規格救急自動車は、平成十年一月に購入したものである。現在の車両との主な違いは、より救命率を上げるため、除細動器を单相波形式から二相波形式へ変更していることである。

■委員 高規格救急自動車に定価はあるのか。

□当局 各市町村の状況に合った高規格救急自動車を購入するため、定価というものはない。

■委員 NOx・PM法により、平成十年に購入した

ものは、十年間しか使用できないということだが、ほかの高規格救急自動車について、それぞれいつごろ使用できなくなるのか。

□当局 今回更新するものは、ディーゼル車であるため基本的には七年で使用期限となるが、排気ガス低減装置をつけることにより三年間延長することができ、十年間使用できるようになっている。ほかの高規格救急自動車はガソリン車であるため、NOx・PM法の対象にはなっていない。

■委員 指名した業者がトヨタ自動車、日産自動車の二社である理由は。

□当局 指名参加願を提出している業者の中で、高規格救急自動車を受注できる業者はこの二社だけである。

■委員 ディーゼル車は十年で廃車ということだが、車両そのものは十五年から二十年は十分に使用できると思うが、廃車後はどうなるのか。また、何十項目にもわたる詳細な仕様があるが、引き渡しの際は、だれが仕様書

等の確認を行うのか。

□当局 廃車したものにについては、日本外交協会を通じて海外援助事業に協力するため、海外で使用されることになる。また、納車の際は消防職員、救急救命士が仕様書の全項目をチェックした後に自動車を受領している。

■委員 自動車の場合の瑕疵（かし）期間については、ずっと一年でやってきたようだが、車の性能からすると瑕疵期間一年というのは短くないのか。

□当局 自動車の瑕疵期間は、契約上車両全体の最低限の保障として一年間としている。

◆本会議・全会一致で可決



購入予定の高規格救急自動車

学校教育法改正により関係条例を整理

文教福祉

議案第四号
学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定

(提案理由) 学校教育法の

改正に伴い、「盲学校、聾(ろう)学校及び養護学校」が「特別支援学校」に、「特殊学級」が「特別支援学級」に改められたことから関係条例の規定を整理するとともに、あわせて用字用語等を整備しようとするもの。

■委員 学校教育法は何年に改正されたのか。また、盲学校、聾学校、養護学校とあつたわけだが、それぞれ呼び名が特別支援学校に統一された理由は。

□当局 今回の学校教育法の改正については、平成十九年四月一日から施行している。また、特別支援学校に変えた理由については、複合的な障害を持つ子供たちが多いためである。

■委員 野田市教育研究会にコーディネーター部会と特別支援学級部会があると聞いているが、どのようなメンバーで、どのような活動をしているのか。

□当局 コーディネーター部会は、特別支援コーディネーターの中から任命され、その方々が中心となつて組織している部会である。また、特別支援学級部会は、支援学級担当の教員で組織している部会であり、それぞれ事例を出しながら研究を進めている。

■委員 特別支援学校となることで、全体的な役割を持つというのだが、どのような方が役割を担っていくのか。また、障害別に専門的な教員免許があるのか。

□当局 野田特別支援学校では、地域支援部会を設けており、五名のコーディネーターが配置されている。五名はそれぞれ、全体をまとめる人、視覚障害担当、聴覚障害担当、肢体不自由担当、進路担当という形で市内の小中学校あるいは高校の要請に応じて派遣されている。教員免許については、従来は盲学校、聾学校及び養護学校免許が存在していたが、平成十九年度からはそれらの免許が廃止され、特別支援学校免許となった。

◆本会議・全会一致で可決

議案第七号
道路改良工事請負契約の締結

(提案理由) 道路改良工事を施工するため、請負契約を締結しようとするもの。

■委員 清水公園駅前線は、清水郵便局前の信号からライオンズマンシヨンの方向に向かって道路が下り勾配になっている。そのため、雨水はトンネルの中にかなり入り込むと思うが、雨水・排水対策は具体的にどのようなとられているのか。

□当局 トンネル部分は一度地下に潜つて、また上がっていくというような構造にはなっていない。西側の座生川側が低い構造であるため、一方的に下つていくという形になっている。したがって、雨水によって、特に浸水するようなことはない。

■委員 ライオンズマンシヨンの前は、以前より車の動きが複雑になる。トンネルを入りする車、側道を総合公園体育館の方に向かって行く車と総合公園体育館の方から来る車、沼端団地の方から

トンネルに入る車と清水公園駅の方へ行く車、駅の方からは沼端団地に入る車など、さまざまな車の流れが想定されるが、交通安全という観点からどのように考えているのか。

□当局 交差点の形状も含め、警察と交通安全について十分な協議を重ね危険のないようにしていきたいと考えている。例えば沼端団地の方から清水公園駅前線に入る際には、側道を通る車とトンネルから出てくる車の両方について注意する必要があるが、交通安全標識、白線等を設置することで危険のないようになっている。

◆本会議・賛成多数で可決



清水公園駅前線